

平成 29 年 7 月 31 日

貝塚市議会議長  
田中 学 殿

研修会受講報告書

公明党議員団  
前園 隆博

日時； 平成 29 年 7 月 26 日(水)、27 日(木)  
場所； 全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市）  
研修名；平成 29 年度市町村議会議員研修（2 日間コース）  
「第 2 回自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～」  
内容； 講義と演習 関西学院大学専門職大学院経営戦略科 教授 稲沢克祐 氏

7 月 26 日

講義 決算の意義と審査のポイント

第1部 自治体決算の基礎

1-1. 変革の時代：ストックサイクル（ひと、もの、かね）の変化

ひと：人口減少、もの：道路や橋、施設も高齢化する、おかね：これからの地方財政の課題

1-2. 平成 26 年 4・5 月の動き

総務省：公共施設等総合管理計画の要請、新地方公会計改革における新基準の提示

日本創生会議：提言 ストップ人口急減社会、国民の希望出生率の実現、地方中枢拠点都市圏の創生

2. 自治体決算の基礎

決算から予算へ、連続性で考える

3. 法定書類についての用語基礎知識

- 歳入歳出決算書・歳入歳出事項別明細書
- 実質収支に関する調書
- 財産に関する調書

4. 決算審査における着眼点

基本方針 \* 予算審議（当初・補正）との関連から審査する

\* 住民の視点から審査する

\* 全体を捉えてから、細部の議論

視点 \* 財務数値の視点

\* 財産の状況

\* 成果の検証

5. 決算統計の分析

\* 地方財政の用語の復習

\* 財政分析 指標解説

視点1 財政収支：分析の基本

視点2 弾力性分析：どれだけ機敏に対応できるか

視点3 歳入分析：分権の基本

演習 決算審査の実践

1. 収支状況と基金残高との関係
2. 経常収支比率の性質別科目ごと推移
3. 財政的ストックの視点からの分析例

7月27日

講義 理論編 決算審査の新しいアプローチ

第2部 公会計制度改革の理解

1. 公会計改革理解のための言葉：発生主義、アカウントビリティ  
地方公会計改革の効果と分析の視点
2. 新地方公会計改革の経緯：資産債務改革に資するツールの整備としての公会計改革
3. 財務書類4表の理解と分析の視点（貸借対照表の中心に）
4. 分析指標による比較分析のために

講義 実践編 行政評価等を用いた決算審査の実践

第3部 行政評価

1. 行政評価の目的  
定量的評価（非財務数値の数値化）と定性的評価（妥当性、有効性、効率性の評価）
2. 政策体系と行政評価  
行政評価の活用
3. 行政評価シートの理解
4. 定量評価の理解  
指標の理解
5. 定性評価の理解  
ロジックモデルと評価視点

感想

今回、決算審査のポイントについて、講義、演習を通じ、詳しく学習しました。本市において、9月議会の決算審査で生かせるようにしたいと思います。